

## 【お知らせ】母の日記念企画

5月 14 日 (日)

14時 母の日記念礼拝

・ペアンテ・ボーマン師 (ピアノ)

・ルリ子・ボーマン師 (ピアノ)

\*講師・音楽



### ※オンライン配信について

- ・9時より第1礼拝を通常通りにオンライン配信します。説教は荻野牧師。

- ・「母の日記念礼拝」と「ペアンテ・ボーマン・チエロコンサート」のオンライン配信はありません

## 【礼拝賛美】

「主はぶどうの木」(※→★→※の順)

※主はぶどうの木  
いつも離れずに  
主はぶどうの木  
豊かな実を結ぶ

わたしは枝です  
わたしは枝です  
愛に生きるなら  
わたしは枝です

★みことばに留まり  
この世は知るでしょ  
主の救いと 療し

## 【本日の配布物】

・母の日チラシ ・靈修会申込案内

\* 霊修会 講師 決定!

林正弘 師  
インマヌエル総合伝道団船橋教会牧師  
聖宣神学院 院長

今は林修養生がお世話になっています。  
荻野牧師が神学生時代には寮監を務めて  
おられ、たいへんお世話になりました。

## 【お祈りください】

\* クラブシオン (オールシオン中高生集会)  
4月 29 日 (土) 横浜シオン

\* ふらふら in 石岡 (オールシオン青年集会)  
5月 4 日 (木) ~ 5 日 (金) 石岡シオン

林修養生転任の機会に石岡シオンで行います。青年たちが各シオンに関心を払い、主と教会に仕える心がさらに養われるようにお祈りください。

No4 2023・4・23

二人は話し合つた。「道々お話しださる間、私たちに聖書を説き明かしてくれださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。

## ルカの福音書 24 章 32 節

イエス様が復活された日、ふたりの弟子はエルサレムを離れてエマオへと向かいました。イエス様が死んでショックだったところに、その主が復活したという知らせを

聞いて彼らは混乱するばかりでした。山の上の街、エルサレムから山道を下る彼らは、暗い顔をして気持ちも沈むばかりでした。

けれども、彼らが復活の主を知ったとき、まさに180度気持ちが変わり、険しい山道を駆け上りエルサレムへと戻りました。すでに夜になり真っ暗でした。しかしふたりは、あたりが暗闇でも、行く手が険しい山道でも、そこを突き進む命の力に満たされ

ていました。ここにイエス・キリストの復活を信じる人の生き様を見ます。

私たちの人生には試練や困難があり、人はそこで迷い、戸惑い、不安にとりつかれます。けれども、イエス・キリストの復活を信じて、永遠の命を受け取る人は、暗闇に覆われた険しい道でも、喜びと希望を胸に前に進むのです。このような恵みにいま生きされていることを信じましょう。

では、ふたりの弟子はどうして復活の恵みを受け取れたのでしょうか。そこにはイエス様からの働きかけがありました。

まずイエス様ご自身が彼らに近づきました

た（15）。復活を信じられず信仰の火が消えかかっていた彼らをイエス様は見放しませんでした。「くすぶる灯心を消すこともなく」（イザヤ四一3）とある通りです。

また、イエス様は自ら彼らに語り続けました（27）。みことばによつて人はイエス様の復活が事実であり、私自身のためであつたことを知ります。そして、その人の心は燃やされるのです（32）。

特に、聖日ごとの礼拝式に加わることは大切です。彼らはイエス様がパンを裂いたときに復活の主を知りました。聖餐を想起させる場面からは、共同体である教会の礼拝に加わることで私たちに靈の命が吹き込まれることを教えられます。

ふたりが復活の主を知ったとき、復活の命も彼らのものとなりました。私たちも、その恵みを受け取り続けましょう（泰）

4月23日 聖日礼拜

**招詞**（主の招きのことは）

## 【本田の礼拝奉仕者】

招	第1礼拝	9時	荻野牧師
詞			荻野し兄
イザヤ書43章19節			榎原姉
聖歌127	11時	荻野と兄	

イサヤ書43章19節「見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。」アーメン

受付	禮拝祈禱	司會者
報告	聖書朗讀	司會者
獻金祈禱	獻金1階	司會者
司會者	司會者	司會者

会衆贊美  
主はぶどうの木  
主の祈り

**■会堂清掃 第1・第2礼拝 終了後**

禮拝祈禱  
使徒信條  
聖書朗讀  
ルカの福音書

小学科社会 3 階 1 時  
お話し

説教エマオの道で

**ホザナ礼拝** 6階 11時  
お話し

獻金  
會衆贊美  
聖歌654

担当 12時15分(45分)

頌祝  
榮聖歌376  
禱告  
後奏 感謝祈禱

役員会  
牧師室  
13時30分(

【教会あれこれ】

新年度を迎えて、受難週そしてイー  
スターを越えつ蒲田シオン教会は  
新たな船出をしました。どうなるこ  
とかという不安以上に、兄弟姉妹が  
教会の状況を受け止めて祈りつつ協  
力してくださっている様子が目に留  
まります。

教会運営の新体制移行に伴い、こ  
れまで教職者が担っていた部分を兄  
弟姉妹に負つていただいている  
聖務表をご覧いただくと、特に役員  
兄姉が率先して担つておられること  
が見えてきます。陰の部分でも多く  
を負っている役員兄姉のために、ま  
た共に勞されている兄弟姉妹のため  
にお祈りください。

\*  
**奉仕者募集**  
先日の週報で「週報印刷（奉仕日—土曜日）」「礼拝プロジェクト操作（奉仕日—日曜日・礼拝）」の奉仕者を募集したところ、早速に手を挙げてくださった姉妹方がいます。感謝

### \* 教会学校・小学科・ホザナの状況

荻野牧師も長年ホザナスタッフを経済。会ながるナポリへこます。

【ホザナ会の状況】スタッフとしては林修養生が抜けた穴はとても大きいです。

『小学校の状況』現在、レギュラーで集つてゐる小学生は4名ほど。大半が教員の子弟です。クラブ活動に加わつてゐる子もあり、出席者ゼロということもまれにあります。厳しい戦いですが、主が愛された幼い尊い魂です。子どもたちのために、そして彼らを愛して労しているスタッフのためにお祈りください。

受けています。というのも、長らく礼拝のお話は教職者が担当しており、今年度はそれが難しくなりました。教会学校スタッフは毎週の奉仕だけに気持ちがあつても担当するのは難しい場合があります。そこで今年度はレギュラースタッフだけでなく、部分的にお手伝いいただくサポートメンバーオーをお願いしました。お話をはじめ、小学科礼拝、ホザナ礼拝の運営を助けていただきます。

**教勢報告** 16日 聖日礼拝

教会員の子弟は男子中心で数名いります。レギュラーでは2～3名です。また、昨年、今年は玉川聖学院の生徒が多数来会。先週は10名以上の出席でした。大勢の来会は感謝である一方、まとめていくのは苦労します。若い方が福音に触れて世の悪しき流れから守られるよう、そして導くスタッフの靈肉が強められるようにお祈りください。

# 〔次週礼拜説教〕